

死亡災害ゼロ・アンダー190 伊勢

令和8年
5月号

令和7年 労働災害発生状況

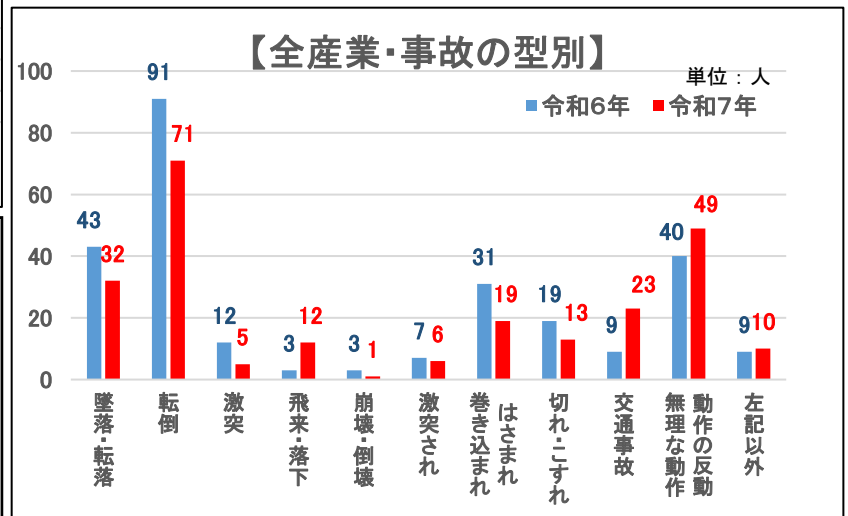
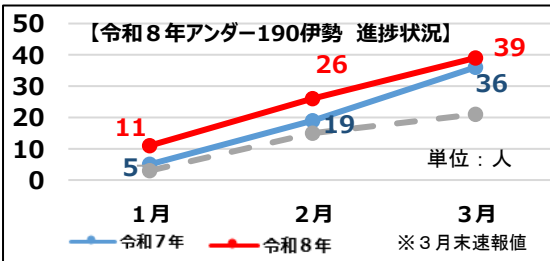
伊勢労働基準監督署
確定値

伊勢労働基準監督署管内（伊勢市、鳥羽市、志摩市、度会郡）において令和7年に発生した、休業4日以上之死傷者数（新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除く。）は、**死亡者数は2人（前年と同数）、休業4日以上之死傷者数は241人（前年から21人減）**となり、目標値である死傷者数190人を下回ることができませんでした。

また、令和8年に発生した労働災害は、令和8年3月末時点で、**39人（前年比8.3%増）**となっています。

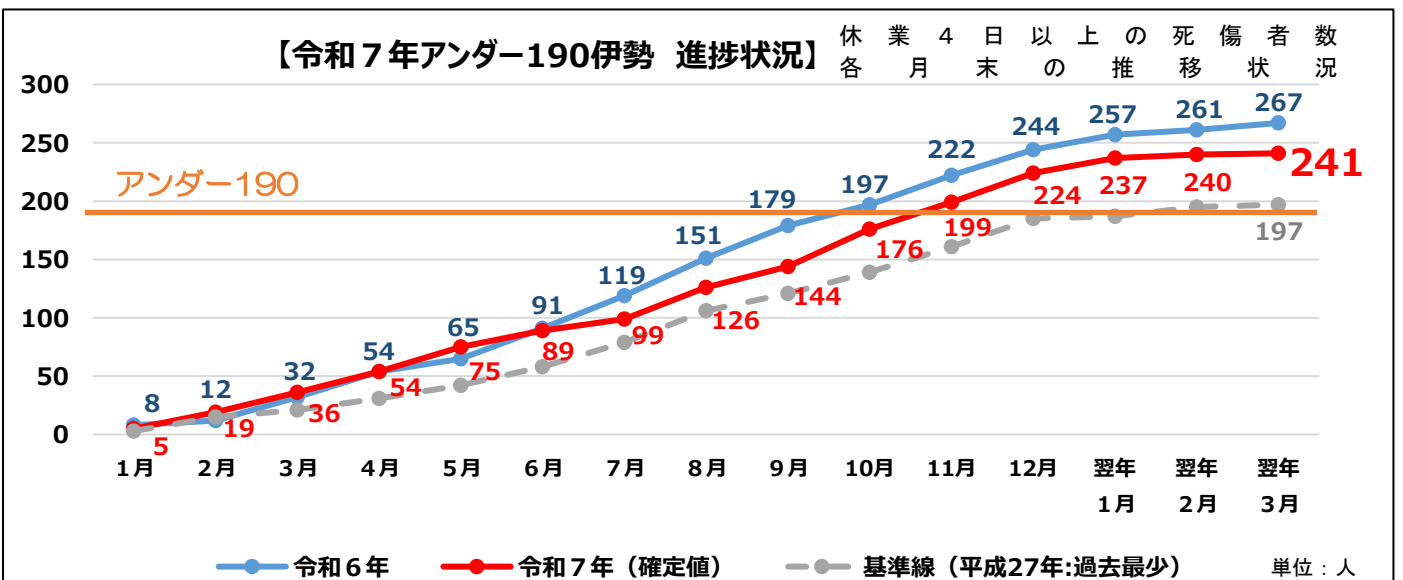
【令和7年 休業4日以上之死傷災害発生状況 伊勢署】

	令和6年		令和7年		前年比	
	死亡	死傷	死亡	死傷	(死亡)	(死傷)
全業種	2	267	2	241	-26	-9.7%
製造業		42		47	+5	+11.9%
建設業	1	27	1	25	-2	-7.4%
道路貨物運送業		15		12	-2	-20.0%
林業		6		3	-3	-50.0%
小売業		50		34	-16	-32.0%
社会福祉施設		40		38	-2	-5.0%
旅館業		19		21	+2	+10.5%



管内の労働災害事例

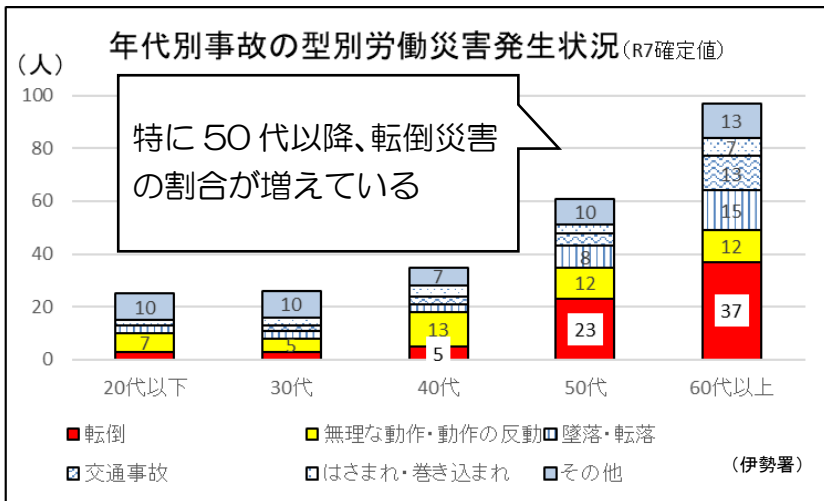
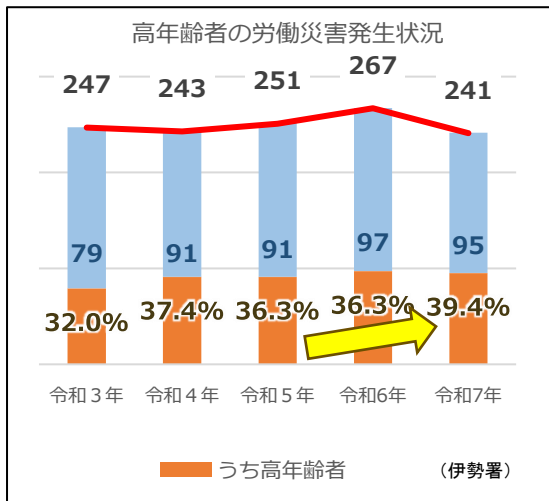
【転倒（つまずき） 休業3か月以上】
長さ1mほどの鉄板を持ち、足元が十分に見えない状態で歩いていたところ、足元にあった製品の乗ったパレットにつまずき、膝から転倒し、骨折した。



高齢者の労働災害を防止しましょう

「高齢者の労働災害防止のための指針」が公布されました

伊勢労働基準監督署管内では、令和7年に発生した休業4日以上死傷者数は241人となり、過去5年間のうちで最小となりました。一方で、60歳以上の高齢者の労働災害発生状況をみると、年々**高齢者の労働災害**の割合が増え続けています。令和7年は、**全体の39.4%（前年比3.1%増）が高齢者による労働災害（うち約4割が転倒災害）**となっています。

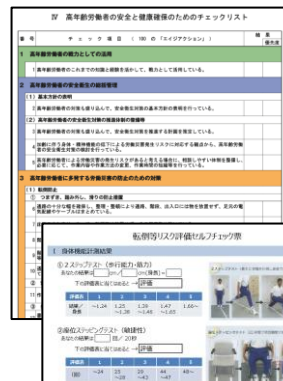


高齢者の労働災害防止を図るため、改正労働安全衛生法第62条の2第2項の規定に基づき、高齢者の労働災害防止のために必要な事項を定めた「**高齢者の労働災害防止のための指針**」が公表され、令和8年4月1日から適用されています。改めてご確認ください。

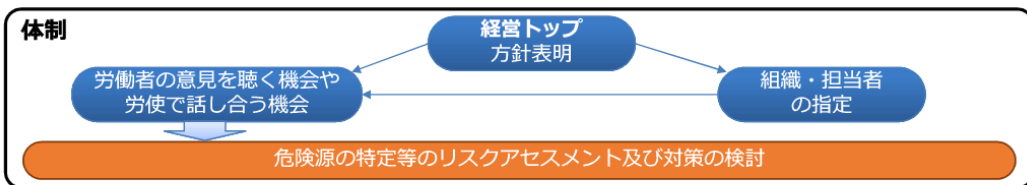


厚生労働省HP
「高齢者の労働災害防止のための指針」について（公示）

(参考)
高齢労働者の安全と健康確保のためのチェックリスト↓



↑転倒等リスク評価セルフチェック票



	予防	把握・気づき	措置
場のリスク	安全衛生教育 身体機能を補う設備・装置の導入（本質的に安全なもの）	危険箇所、危険作業の洗い出し	身体機能を補う設備・装置の導入（災害の頻度や重篤度を低減させるもの）
	メンタルヘルス対策（セルフケア・ラインケア等）	ストレスチェック ①個人、②集団分析	職場環境の改善等のメンタルヘルス対策
	健康維持と体調管理	作業前の体調チェック	高齢者の特性を考慮した作業管理
人のリスク	運動習慣、食習慣等の生活習慣の見直し	健康診断	健診後の就業上の措置（労働時間短縮、配置転換、療養のための休業等）
	体力づくりの自発的な取組の促進	安全で健康に働くための体力チェック	健診後の面接指導、保健指導
			体力や健康状況に適合する業務の提供 低体力者への体力維持・向上に向けた指導

お問合せ先 伊勢労働基準監督署 安全衛生課
TEL 0596-28-2164

伊勢労働基準監督署からのお知らせ 検索

